

SDGs プロモーター@下京 Vol.3 つくる責任 つかう責任 ~つくる人とつかう人の間でつたえる責任~



私たちが暮らす現代には様々な課題が山積していますが、持続可能な開発目標(SDGs)として、17のゴールと169のターゲットが2015年に国連で採択され、世界各国が目標達成に向け取り組んでいます。

このコーナーでは、区内で活動されている方をSDGsのゴールにちなんでご紹介します。今回は、「日本の伝統を次世代につなぐ」取り組みをされている、株式会社和える(aeru)西日本事業責任者の田房夏波さんにお話を伺いました。

『0歳からの伝統ブランドaeru』は、「こぼしにくい器・コップ」など、子どもの頃から愛用できる一生モノを、日本全国の職人さんと作っています。烏丸松原西入の「aeru gojo」では、商品の販売はもちろん、日本の伝統を伝えるための様々なイベントも開催。SDGsのゴールの一つ“つくる責任”と“つかう責任”を考えると、私たちに、その間で両者の思いを“つたえる責任”があると考えています。

昔は、つくる人とつかう人の距離が、今よりももっと近かった。しかし、高度経済成長を経てグローバル化も進んだ今、その距離はずいぶん遠くなったと思います。つかう人を思って丁寧につくり、つくる人を思いながら大事につかう。距離が遠くなった分、私たちが「つたえる職人」として、つくる人とつかう人がお互いに思いを馳せられるよう丁寧につたえられたらと思うのです。

aeru gojoに行くと、職人さんの思いを感じられ、器やコップに愛着が湧いてくる。そんなお店でありたいですね。



子どもが自分で食べやすい「こぼしにくい器」 (写真提供: (株)和える)

☎ 地域力推進室まちづくり推進担当(☎371-7170)

☎ 下京消防署(☎361・4411)



6月2日、「京都市消防団総合査閲」が京都市消防学校で実施され、醒泉消防分団(岡高明分団長)が下京消防団の代表として出場しました。市内の各代表が見守る中、日頃の活動の成果を十二分に発揮し、見事な訓練を披露されました。これからも下京消防団の活動にご注目ください！

醒泉消防分団が市総合査閲に出場！

下京マモル君のQ&A ~熱中症を予防しよう！~

これから夏に向けて熱中症になる人が増えてきます。そこで今回は、熱中症についてお話しします。

Q 平成30年に市内で熱中症により救急搬送された人数は？

A 1,557人の方が救急搬送されました(うち半数は屋内で発症)。

Q 最も救急搬送人数が多くなる季節は？

A 梅雨入りの暑くなり始めた頃から増加する傾向にあり、平成30年度は7月が最も多く、91人でした(半数以上は65歳以上の高齢者)。

Q 熱中症の症状は？

A めまい、立ちくらみ、手足のしびれなどの初期症状を経て、悪化すれば、頭痛、吐き気、倦怠感が出てきます。重症になると意識障害、けいれんなどを起こすこともあります。

Q 熱中症の予防法は？

A こまめな水分補給、クーラーや扇風機の活用、バランスの良い食事、十分な休養などが挙げられます。



予防治法などを参考に、これからの暑い夏を乗り切ろう！

☎ 下京消防署(☎361・4411)

Q 熱中症になってしまったら、どうしたらいいの？

A ・屋外であれば、日陰など涼しい場所に移動させる。
・衣類を緩め、うちわなどで風を送り、濡れタオルなどで首や脇を冷やす。
・スポーツドリンクなどで水分や塩分を補給する。
・自分で水分がとれないときや意識がない、反応がおかしいときには、ためらわずに119番通報し、救急車を呼びましょう。

令和元年度下京区民が主役のまちづくりサポート事業の採択事業を決定！
下京区をよりよいまちにするための区民などによる自主的な取り組みを30件採択しました。今後実施される採択事業の催しについては、随時「下京のびびき」や区役所フェイスブック、下京区140周年記念サイトでお知らせします。

区社協からのお知らせ

下京区地域支え合い活動 入門講座

高齢者の生活支援に関する知識や、活動を開始するために役立つ情報を提供する講座を開催します。地域の支え手として活躍したい方の受講をお待ちしています！

日時 8月29日(木) 13:30~15:30
場所 下京総合福祉センター3階
定員 30名(先着順)
申込み 8月20日(火)までに電話または窓口で
☎ 下京区社会福祉協議会(☎361-1881)

「令和の夏 ころあたらたに 事故防止」

運重

○自転車等の安全な利用の促進
○飲酒運転の根絶

